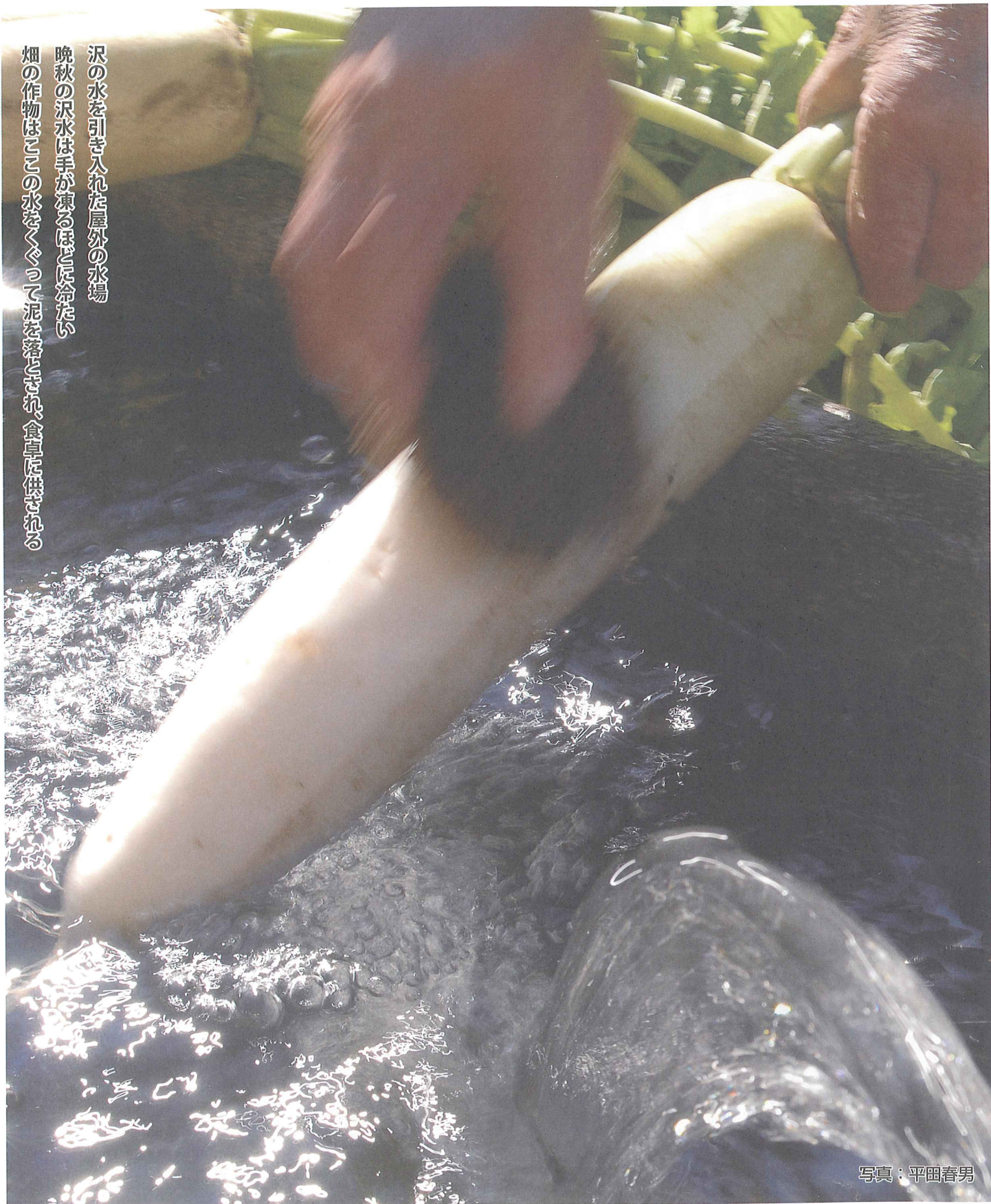


奥会津だより



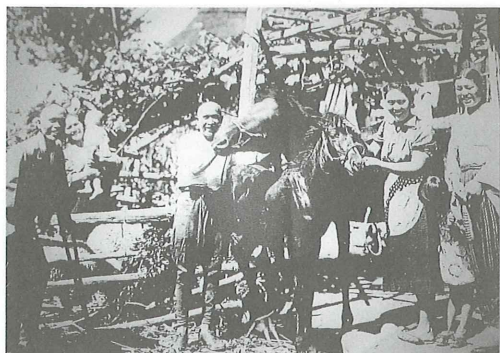
沢の水を引き入れた屋外の水場
晩秋の沢水は手が凍るほどに冷たい
畑の作物はこの水をくぐって泥を落とされ、食卓に供される



写真：平田春男

馬との暮らし

伊藤 舜★只見町立只見中学校 一年



僕は祖父から一枚の写真を見せてもらいました。その写真は、七十年前程に僕の家で飼っていた馬の写真です。昔の僕の家では、家畜として馬や羊、ヤギを飼っていました。特に馬は重要な事に役に立ったそうです。馬車、荷物運びなどにも役立て、農業でも、肥やしがとれて、そのおかげで良い作物がとれたそうです。そして大きくなった馬が子どもを産んで、その子どもを馬を売ったそうです。エサは家の近くだけでは足りないのです、早朝の四時半

ごろになると、馬をつれて、少し離れた所まで行って、エサとなる草をとってきたそうです。祖父は中学二年生からその手伝いをしていました。祖父が手伝いはじめたころは、馬ではなく、牛だったそうです。その手伝いをする時、午前八時くらいまでかかるので、しよっちゅう学校にちこくをしていったそうです。しかし、ちこくしてまで家畜の面倒をみて、かわいがつてあげるの、すごいと思いました。家畜をかわいがるだけでなく、愛情を持って接して、家族の一員として仕事をすることが、とても印象に残りました。

僕は、実際に家畜を見たり、育てたりしたことはないけれど、話を聞くと、家畜は家族と一緒になので、愛情を込めて育てて、その分それぞれの家の生活を支えてくれる大切な存在だったと思います。昔の人の苦労を知る良い機会になりました。

取材ノート

只見町・黒谷で聞く

Q:馬と一緒にの写真ですが、いつ頃撮影されたのでしょうか?

吉津さん:そこに抱かれているのが自分です。ちっちゃいあかご。昭和14年頃かな。

Q:馬はいつ頃まで家にいたのですか?

吉津さん:戦前は馬だったんだよ(農耕用の家畜は)、この辺りみんな。オレが10歳頃は牛になっていた。うちの父親が騎兵に行っていたの。仙台の青葉城に騎兵学校があった。入っていたんだが、傷痍軍人になつて帰ってきた、そのころの写真です。

Q:「荷物運び」というのは?

吉津さん:馬に鞍(くら)をつけて、のをつけて、それに荷物を結つけて運んだんです。米とか草とか...

Q:舜君、じいちゃんから話を聞いてみて、どうでしたか?

祖父 吉津 勝治朗さん

(昭和13年11月18日生 74歳)

孫 伊藤 舜君

(平成10年11月3日生 14歳)

(只見中学校 2年)

舜君:ウチには今猫がいますが、我が家に馬がいたというのが驚きでした。

吉津さん:ウマヤというのがあったから、今でも。冬はそこに蓄えておいた草とかトウムギとかの雑穀の余りをやめた。湯をわかしてコヌカとか交ぜてねっとりさせてやっていた。

Q:中学2年の時から手伝いをしていた、ということですが?

吉津さん:13歳の時に親父が亡くなつて、それからは草を刈るのが自分と母親だけになってしまつて、それでやっていました。1年間だけおじが来て手伝ってくれた。母もウチの仕事があるので、隣の人にオレを頼んで、ウチの草刈一緒に連れてつてもらつて、そして草を積んでもらつて帰ってきた。

Q:朝、何時頃出発ですか?

吉津さん:空が明るくなれば、家を出た。

Q:帰ってきて学校に行くのですが遅刻してしまふのですか?

吉津さん:朝礼とかでみんなもう並んでいるわけ。子守りしながら学校に行く時代だったから、遅刻でおこられたことは無かつたなあ。

Q:家畜をかわいがつた、というのは?

吉津さん:牛はかわいがつたなあ、なつてくつから。学校から帰つて来て、その道まで来つと、鳴くんだよ。そうすると、(牛に)エサの草をぶつこんでから家に入り前だった。

Q:昔の写真見ながらじいちゃんから話を聞いて、どうでしたか?

舜君:全然知らないことばかりだったし、その頃の家畜のことを聞けて良かったです。

※舜君は、野球部員として現在活躍中。高校に進学しても野球か陸上競技をやりたいと希望している。

※勝治朗さんは、40年以上書道を続けていて、舜君の書道の師でもある。



(取材:金澤秀光 菅 敬浩 文責:写真:菅 敬浩)

旬の風景

畑から抜いた豆を乾燥させている。

天候が変わりやすい秋の日に、太陽の光は貴重だ。晴れた日を待って枝を打ち、硬く実った豆を取り出す作業が控えている。



水辺の生き物たち マガモ

光る緑の頭部に白い首輪をした美しいマガモ(オス)。水辺の草むらや茂みに棲み、草の実や水草を食べる。アヒルの原種として知られているが、狩りの対象として食用にされてきた。群れを作って越冬する。



薬になる野草 アケビ



秋の彩りの中でも、ひととき鮮やかな紫が目を引くアケビ。とろりと甘い果肉には豊富なビタミンCが含まれている。料理の素材としても使われる果皮にはカリウムが多く含まれていて、高血圧に効果があるとされてきた。生薬として用いられてきた乾燥したツルは、利尿作用があるという。

祈りを纏う暮らし

写真・文 竹島 善一

山中集落は、その名の通り深い山中にある。ここに茅屋根の民家が一軒あった。住人は春から秋をここで暮らし、秋の終わりに里へ下りる。雪が道を閉ざす前に庭木に養生の手を入れ、一月早く正月の松を飾った。こうして祈りが宿り、春まで無住の家に生命が与えられていた。

(平成18年12月 金山町山中地区)



Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「結つける」 ヒント：P2. 聞き書きをご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、南会津町館岩の「ビーンズトレイ」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979

奥会津書房宛

●応募締切：2012年12月15日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号72号で発表いたします。



◎70号「カノ」の答え：「焼畑」

たくさんのご応募ありがとうございました!

読者コーナー



お便り紹介

●春先に倉庫に蓄えられた雪で保存するという昭和村のカスミ草、ステキですね。奥会津の人々の愛情一杯の花、一度見たいものです。(岡山県 N.Hさん)

●奥会津ファンクラブ会員になり、奥会津といつも「つながり」を持っている気持ちになっています。「ゆき湯湯印帳」をもらい、計8回毎週のように通って全湯制覇し、「ゆき湯風呂桶」をいただきました。かけ流しの素晴らしい温泉が多いところだと感じました。(中・後略)(新潟県 H.Tさん)

●「こども聞き書き百選」は何度も読み返す情報です。戦前は焼畑農業が主流で茅や萱原を燃やしその跡に農作物を作りました。この話は毎年旅行に行った会津の方々から聞きました。昔ながらの方法が一番自然でいいと思います。(中・後略)(千葉県 K.Kさん)

●奥会津が好きで年に5.6回訪れていましたが、80歳の年波には勝てず手許の「奥会津だよりの」を毎回懐かしく見ております。(千葉県 I.Mさん)

奥会津だよりの定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

奥会津とく!得!体験

第1回抽選会を行いました

奥会津の各地域でお食事やお土産の購入、宿泊するとスタンプが集まり、ポイント数に応じて「奥会津ペア宿泊券」や「奥会津の逸品」などが抽選で当たる「奥会津とく!得!!体験」の第1回抽選会を行いました。厳選なる抽選の結果、40名の当選者が確定しました。

第2回抽選会への応募は平成25年2月28日までとなりますので、引き続き「奥会津とく!得!!体験」への参加をお待ちしています。



賞品イメージ「奥会津産品の詰め合わせ」

11月中旬~1月中旬

奥会津イベント情報

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
12月15日(土)	尾瀬檜枝岐温泉スキー場オープン	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	尾瀬檜枝岐温泉スキー場 ☎ 0241-75-2351
12月19日(水)	会津高原たかつえスキー場オープン	館岩地域	会津高原たかつえスキー場	会津高原たかつえスキー場 ☎ 0241-78-2220
12月22日(土)	只見スキー場オープン	只見町	只見スキー場	只見スキー場管理事務所 ☎ 0241-82-2304
12月23日(日)	柳津温泉スキー場オープン	柳津町	柳津温泉スキー場	財団法人やないづ振興公社 ☎ 0241-42-2302
12月23日(日)	フェアリーランドかねやまスキー場オープン	金山町	フェアリーランドかねやまスキー場	オープン前：金山町保養センターせせらぎ荘 ☎ 0241-54-2830 オープン後：フェアリーランドかねやまスキー場 ☎ 0241-54-2022
12月26日(水)~28日(金)	第20回SAF公認尾瀬檜枝岐ミヤコスポートカップクロスカントリー大会	檜枝岐村	七入クロスカントリーコース	檜枝岐村役場企画観光課 ☎ 0241-75-2503
12月27日(木)	会津高原南郷スキー場オープン	南郷地域	会津高原南郷スキー場	会津高原南郷スキー場センターハウス ☎ 0241-73-2111
	会津高原高畑スキー場オープン	伊南地域	会津高原高畑スキー場	会津高原高畑スキー場 ☎ 0241-76-2231
1月1日(祝・火)	元朝詣り	柳津町	福満虚空蔵菩薩圓藏寺	柳津観光協会 ☎ 0241-42-2346
1月~3月	里山スノーシュートレッキング	伊南地域	南会津町多々石地区ほか	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎ 0241-76-2517
1月4日(金)~5日(土)	第24回SAF公認檜枝岐カップ	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	檜枝岐村役場総務課 ☎ 0241-75-2500
1月7日(月)	七日堂裸詣り	柳津町	福満虚空蔵菩薩圓藏寺	柳津観光協会 ☎ 0241-42-2346
1月14日(祝・月)	鳥追い	三島町	三島町桧原・滝谷地区	三島町教育委員会 ☎ 0241-48-5599
	両原早乙女踊り	昭和村	昭和村両原地区	昭和村役場産業建設課 ☎ 0241-57-2117
	歳の神	檜枝岐村	檜枝岐村内	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎ 0241-75-2432
1月15日(火)	サイノカミ	三島町	三島町各地区	三島町教育委員会 ☎ 0241-48-5599
	歳ノ神	館岩地域	南会津町湯ノ花・上郷地区	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎ 0241-78-2546



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)
発行日：11月15日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525
http://www.okuaizu.net ☐ webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。